

# Maz-Motte

マズモット



Maz-Motte

Vol.1

2017.1.27

名古屋JCがつくる広報誌

JCI

発行者/公益社団法人名古屋青年会議所  
〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目15番24号 名古屋JC会館

TEL 052-221-8590

## 対談企画 SPECIAL TALK

# 理事長、日本会頭に迫る

公益社団法人名古屋青年会議所2017年度（第67年度）スローガン

# 未来は勇者のものである

～新たな価値観を創造しNAGOYAから世界へ～

HP <http://www.nagoyajc.or.jp>

## JC入会案内

### あなたの魅力をもっと輝かせてみませんか。

自分のスキルアップを目指してる人！ ビジネスのネットワークを広げたい人！  
仲間づくりをしたい人！名古屋のまちが好き人！ 子供たちへの教育に興味がある人！  
JCでしかできない経験が必ずあなたの可能性を広げます。あなたも会員になってみませんか。

#### 組織運営に直結する トレーニングの実施

リーダーシップ開発を目的に、組織運営に必要な能力の習得につながるトレーニングや、ビジネスシーンにおけるマナー学習やコミュニケーション能力向上に結びつくセミナープログラムを行い、全会員の能力向上を図っています。

#### 子供たちの育成

名古屋青年会議所では、職業体験やスポーツ大会など様々な青少年育成事業を展開することで、未来を担う子供たちの健全な育成を後押しすると共に、夢に向かって努力することの大切さや素晴らしいことについて学ぶ機会を設けています。

#### 社会問題に率先して 取り組む意識の醸成

名古屋青年会議所が目指すべき運動の方向性や政策を訴える場、確認する場として毎月一回例会を開催しています。これは「今、我々市民が何を問題とし、行動に移さなければならないのか」という意識を共有し醸成することを目的としています。

#### 青年会議所Q&A

#### よくある質問

- Q かかる費用はどれくらいですか？**  
A 年会費185,000円となります。その他に諸大会・事業等で登録料が必要となる場合があります。
- Q 会員にはどのような方々がいるのですか？**  
A 名古屋市若しくは周辺地域で就業、又は在住する21歳から40歳までの人々が活躍しております。個人事業主の方から会社員、企業の若手経営者の方など業種や役職、経歴や男女を問わず幅広く入会されています。JCの活動を通じて、お互いの環境に関係なく生涯の友となれる人ときっと出会えるはずです。
- Q JCIに入ったらどのような活動をするのですか？**  
A 「明るい豊かな社会の実現」を目的に名古屋のまちづくり、ひとづくりを実践しています。具体的な事業内容は毎年変わりますが、理念は変わりません。また、単年度制をとっており、理事長以下、組織は毎年入れ替わります。また、日本青年会議所等に出向することで、日本全国のJC会員と共に活動することができるのみならず、世界組織であるJCの特色として、世界中の会員と交流することもできます。
- Q どれくらいの頻度で集まりがありますか？**  
A 月に2回程度(例会が月1回、委員会は月1回程度)場合があります。

▶お問い合わせは下記まで ※入会を希望されていても面接により入会をお断りする場合がございます。

#### 入会資格と入会費用

- 年齢/1981.1.1生~1995.12.31生の男女
- 推薦人/2名の推薦人(名古屋青年会議所の正会員2名又は正会員1名と特別会員1名)  
※推薦人には、入会希望者の在籍中、責任を持って助言・指導をしていただきます。
- オリエンテーションを受講できる方
- 入会目的・理由が明確であり、その目的・理由が青年会議所の趣旨に合致すること
- 同一の会社の社員は原則として2名まで
- 入会金/50,000円
- 年会費/127,400円(初年度のみ)  
次年度以降/185,000円  
※入会初年度は入会月により月割りの計算となります。
- JCバッジ・ネームプレート/3,200円

#### マズモット定期送付ご希望の方へ

携帯、スマートフォン、パソコンからお申し込み

①QRコードを読み取ってください→



②「マズモット定期送付依頼フォーム」から必要事項をご入力ください。

※QRコードでなく、入力の際は下記アドレスをご入力ください。  
[https://www.nagoyajc.or.jp/67nendo/about/mazmotte/main\\_form.php](https://www.nagoyajc.or.jp/67nendo/about/mazmotte/main_form.php)  
※ご記入いただいた個人情報は、個人情報保護法に従い取り扱います。  
※公益社団法人名古屋青年会議所に関する情報提供以外の目的では利用いたしません。  
※アクセスにはご契約の通信料がかかります

#### 名古屋の魅力を発信する情報をゲット！

名古屋青年会議所のホームページやSNSでも情報を発信中！

公式Facebook



公式Instagram



公式LINE



ラインスタンプもあるから使ってネ。

スタンプのタイトル:  
名古屋JCコアラ (JC用語編)  
©3iC'n Style + JCI Nagoya



#### マズモット新年号 編集後記

マズモットの編集に携わるようになったのは、第67年度広報委員会の副委員長予定者として担いを受けたばかりの頃でした。恥ずかしながら、私は今までマズモットを熟読したことがなかったので、何を記事にしたら良いのか分からないまま、過去のMaz-Motteを取り寄せることから、制作を始めることになりました。地域に目を向けた記事や名古屋青年会議所のメンバーにスポットを当てた記事もあり、思っていたよりも興味深く読み進めることができました。しかし、読みながら、「ここをもっと工夫したらいいのに」と感じる部分もいくつかありました。実際に制作を進めていくと、初めての経験ということもあり、なかなか計画通りに進めることが出来ず、同じ文章を読んでも、読むたびに受ける印象が変わる等、これまで制作に携わってこられた方の苦労を実感することになりました。自分自身が「Maz-Motte(まずもって)」挑戦してみたことで、新たな価値観を感じた瞬間です。読者から制作者へと立場を変えたことによって、名古屋青年会議所という

大きな組織が、連続と受け継がれてきた先達の想いや、関わる多くの方々の支えで成り立っていることを感じました。私は担当者として、その想いを持った人たちの背中を追い、その志に触れ、より多くの人々に我々の運動の価値を伝えなければなりません。私たち青年会議所の会員は、この名古屋のまちのため、日々運動を展開しています。しかしながら、まだまだ地域の人たちに認知していただけていないことが多くあります。組織が大きい分、会員同士でさえ、お互いの活動をよく知らない場面もあります。このMaz-Motteを多くの方々に読んでいただき、名古屋青年会議所の運動を認知していただける1つのツールとして世に広まることを願い、心を込めて新年号を発行させていただきました。そして、1年間を通して、次代に新たな価値観を残せるよう制作に取り組んでまいりました。最後までお読みいただきまして、ありがとうございます。【マズモット編集部】

編集者  
公益社団法人名古屋青年会議所  
広報委員会

- 編集長 保田幸希
- 副編集長 掛斐晴基 武藤幸幸
- 編集員 相川悟郎 加藤直樹 加藤文博 柴田達也 高田智仁 中島康雄 早川祐希 猿島太地
- 杉崎樹 矢野大輔
- 岩崎陽介 大西孝義 小早川洋介 杉山裕一 田之上慶彦 成瀬善一 早野誠 村瀬雄介
- 篠崎ひとみ 渡辺健介
- 大橋飛鳥 近藤優介 鈴木貴則 恒川大輔 野村茂彦 東勝彦 森光賢
- 岩間泰之 奥田英里 三枝佑一 高木賢一郎 寺島市郎 野間友長 本田達正 横井佑典



公益社団法人名古屋青年会議所  
〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目15番地24号  
TEL 052-221-8590 FAX 052-202-0464

<http://www.nagoyajc.or.jp>

名古屋青年会議所

検索

# 未来は勇者のものである

新たな価値観を創造しNAGAYAから世界へ



公益社団法人名古屋青年会議所  
第67代 理事長 **大和 直樹**

平素は、公益社団法人名古屋青年会議所の活動に多大なるご理解を賜りまして、厚く御礼申し上げます。  
謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

今という時代は、過去の勇氣ある先人たちによって創造されてきました。

人々は常に挑戦し、新たなものを手に入れ、今日の世を創造してきました。

彼らの心の支えとなったのは、確固たる信念であり崇高なる志であります。

我々が現在属している名古屋青年会議所は、終戦間もない1950年、焦土が残る時代に、経済的自立による日本の再建、「明るい豊かな社会の実現」という大きな理念を掲げ、数名の青年たちの手によって産声をあげました。

本当は自分のことで精一杯な時代に、先人たちの突き動かしたのは、自分たちの手で未来を切り拓くという志高き当事者意識と、ほんの一粒の勇氣だったのではないのでしょうか。そして、その崇高なる理念は、66年という歴史を超えた今もなお、現代を生きる我々に連綿と受け継がれております。

時は流れ、世の中は多くのモノや情報に溢れ、人々の生活は非常に豊かで便利なものになりました。今後、名古屋のまちは2027年のリニア中央新幹線開通に向けて、名古屋駅前の再開発によってハード面でも大きく変貌を遂げることでしよう。日本初のレゴランドの開業も目前に控え、多くの国際的な催しも開催されることが決定しています。また、自動車のみならず航空機、工作機械、ファインセラミックス等、ものづくり産業の集積地として、日本経済のけん引役という確固たる地位を確立していると言っても、過言ではありません。

このように、表面的には明るい将来が約束

されているかのようなニュースに溢れています。我々は本当に安心してしまつてしまつて良いのでしょうか。得体の知れない満足感が成熟した世の中に蔓延する一方で、解決しなければいけない社会問題は山積されたままです。しかし、その問題解決に向けて必要な変化や困難と対峙することを躊躇してしまふ、そのような臆病な精神が我々の心を蝕んできているという事実に対して、我々は大きな危機感を感じています。

今日の世を創ってきたのが勇氣ある先人たちであるならば、この先の未来は我々青年の勇氣ある行動によってのみ切り拓かれるのであります。

本年度の名古屋青年会議所は「会員益の向上」と「リアルな社会問題の解決」の二つの理念を掲げ、運動を進めてまいります。そして、時代の大転換期において我々青年がなすべきこと、「ひと・まち・くに」における新たな価値観の創造をすることから、新たな時代の物語は始まるのであります。愛すべき名古屋のまちを想い、名古屋のまちが国や世界に対し、古くから培われてきた創造力を用いて、どのような貢献ができるのか、その存在意義を再定義することにチャレンジしてまいります。

現在700名以上の会員が在籍する当青年会議所でありますが、その多様性が織りなすダイナミズムを大いに活かしながら、同じ価値観を共有したチームとしての力を発揮し、創始の時代から変わらない「この社会をより良いものにする」という至ってシンプルな目標に対して、青年らしく大胆かつ積極果敢に歩みを進めてまいります。

結びとなりますが、市民の皆様、関係諸団体の皆様、そして会員の皆様におかれましては、引き続き本年度の公益社団法人名古屋青年会議所への深いご理解と、倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 平成二十九年 年頭所感 新春を迎えて



愛知県知事  
**大村 秀章**

あけましておめでとうございます。  
新たな年が、県民の皆様方にとりまして、素晴らしい1年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

昨年は、リニア中央新幹線の愛知県内での本格着工、MRJの米国での飛行試験開始など、日本の未来を創るプロジェクトがまたひとつ大きく前進しました。

また、2026年アジア競技大会の開催決定、有料道路コンセッション、公道での自動走行の実証実験など、新たな取組に果敢に挑戦し、着実に成果を挙げた1年となりました。

今年も、こうした取組を発展させるとともに、新たな取組に積極的にチャレンジし、愛知の可能性を大きく広げる1年としてまいります。

まず、2027年度のリニア開業に向けた名古屋駅のスーパーターミナル化や鉄道・道路ネットワークの強化など、中京大都市圏づくりの取組を着実に進めながら、次世代自動車、航空宇宙、ロボット・AIといった次世代産業の育成・振興、企業立地の促進、中小企業支援、農林水産業の国際競争力の強化、2019年秋の開業に向けた国際展示場の整

備など、愛知の産業力を高める取組に力を注ぎ、一層の飛躍を目指してまいります。

また、Heart of JAPAN S Technology & Tradition をキャッチワードに、産業観光や武将観光さらには、昨年末、ユネスコ無形文化遺産に全国最多の5件が登録された日本一の山車からくりで代表される歴史・伝統文化など、愛知の魅力の創造・発信と外国人観光客の更なる誘客に取り組みとともに、伊勢志摩サミットで培った、愛知・名古屋のプレゼンスと国際的なネットワークを活かし、積極的に国際交流を進めてまいります。

そして、認知症対策の拠点づくりとなる「オレンジタウン構想」にも着手するほか、医療・福祉、教育・人づくり、防災・環境、東三河地域の振興にもしっかりと取り組み、愛知の総合力に更なる厚みを増してまいります。

今年も、「日本一元気な愛知」と「すべての人が輝く愛知」の実現に全力で取り組んでまいりますので、県民の皆様の一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

平成29年元旦

あけましておめでとうございます。市民の皆様には、健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年、本市は都市ブランド・イメージ調査を実施したところ「訪問意向」で主要8大都市中最低位という、いわば「行きたくないまちナンバー1」という結果となりました。この結果を受け、市としても都市魅力の向上に全庁を挙げ取り組んでまいり所存です。

一方、国全体の少子化が進む中、5月には市の人口が初めて230万人を突破いたしました。人口は都市の活力を測るバロメーターの一つともされ、ナゴヤが住み良く、潜在力が健在であることの証であると考えております。本市では、子ども・子育てを日本一応援するまちとして「なごや子ども応援委員会」の設置や待機児童3年連続ゼロを達成するなど日本のフロンランナーとなる取り組みを着実に進めてまいりました。

また今後、東京オリンピック、アジア競技大会の開催、リニア開業などが控えており、これからの10年間は、ナゴヤが飛躍的な発展を遂げるのか、東京一極集中化に埋もれるのかの大きな転換期となるでしょう。訪問者の目的地(デ

## デスティネーション となるまち ナゴヤへ



名古屋市長  
**河村 たかし**

スティネーション)となるために積極的な投資を行うことが大切であり、リニア大交流圏の中心都市として発展していくためにも確固たる都市魅力の創出が是非とも必要です。  
震災で焼失した名古屋城天守閣を木造復元することは、ナゴヤの宝・世界の宝となる本物を創出し、まちづくりのかけがえのない第一歩となるでしょう。市民や訪問者にとって、誇りある明解なシンボルの存在は今後のナゴヤにとって不可欠であると信じます。  
4月には名古屋港に「レゴランド」が開業し、名古屋駅や栄の都心部も再開発が行われる一方、桶狭間や有松、志段味古墳群など歴史文化エリアの保存・整備も進んでまいります。全ての人にとって「行きたくないまち ナゴヤ」、世界のデスティネーションとなるまちへ全力で取り組んでまいります。  
本年もどうぞよろしく願いいたします。

平成29年元旦



## 教育再生と経済再生による 誰もが夢を描ける日本への回帰

公益社団法人日本青年会議所  
第66代会頭 **青木 照護**

平素は公益社団法人日本青年会議所の活動に多大なるご協力を頂き誠にありがとうございます。謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

公益社団法人名古屋青年会議所が本年度、大和直樹理事長のリーダーシップの下で「未来は勇者のものである」新たな価値観を創造し「NAGOYAから世界へ」とのスローガンを掲げ、青年会議所運動をスタートさせたことに心より敬意を表します。

名古屋青年会議所は1976年に日本青年会議所第26代会頭として田口義嘉寿先輩、2006年に第55代会頭として池田佳隆先輩をご輩出いただき、本年度は私青木照護が第66代会頭として出向させていただきました。貴青年会議所と日本青年会議所が長年にわたり手を携え、共に歩んでこられたことに心から感謝を申し上げます。

日本青年会議所は二〇一七年度、「教育再生と経済再生による 誰もが夢を描ける日本への回帰」を基本理念に掲げ、全うな日本人を育成する主権者教育の推進や憲法改正、政府によるインフラ整備の後押しなどに取り組んでまいります。

名古屋青年会議所の皆様におかれましては、大和理事長のもと、地域の声に耳を傾け、地域再興を実現していくべく、青年会議所運動に邁進されることをご期待申し上げます。日本青年会議所としても本年度、地域再興政策の立案に向けた支援をさらに充実させていただきますので、大いに活用いただければ幸いです。

結びとなりますが貴青年会議所のさらなるご発展並びに先輩諸氏や現役会員の皆様にとって実り多き一年となりますことを心よりご祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

自己成長を求め、共に「日本道」を歩もう。  
日本を変えるのはオレたちだ!!

明けましておめでとうございます。  
会員の皆様には、お健やかに平成29年の新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。  
昨年11月に名古屋商工会議所の会頭に就任し、初めての新年を迎えました。改めて身の引き締まる思いでございます。

私は会頭就任にあたり、「地域とともに」躍動し愛される名古屋に」をキャッチフレーズといたしました。

これはリニア開業などを機に、大きく変化する名古屋の将来を見据えて、地域の発展と各企業の成長により、躍動し愛される名古屋を目指して、会員の皆様とともに進んでいこう、という想いを込めたものでございます。

本年は西年です。西年は「運氣を取り込む、お客を取り込む」など、商売繁盛に繋がる年と言われます。西のように羽ばたき、景気が上向き「躍動し愛される名古屋」へのスタートとなる良い年であるよう願っております。

### 環境変化の中、たゆまぬ前進を

さて、昨年一年を振り返りますと、当地域の経済は、年明け以降、急速に進んだ円高の影響で、主力の輸出型製造業において厳しい経営環境にありました。かような中、新興国経済の減速や英国のEU離脱方針の決定等の不安定要因に加え、昨年11月の米大統領選の結果によって、国際経済には不透明性が増しており、こうした状況が早期に落ち着いてくれるよう期待しております。

一方、産業界では、AIやIoTなどのIT技術の進展など、新しい動きが加速して

## 2017年 年頭所感 地域とともに、 愛される名古屋を 目指して



名古屋商工会議所 会頭  
**山本 亜土**

### 中小企業へのきめ細かな支援と 次世代産業の育成

具体的には、まず、地域の経済・雇用を支える中小企業の持続的な成長・発展のため、中小企業支援を商工会議所活動の基盤となる事業として全力で取り組んでいきます。

年間延べ約18,000社におよぶ巡回訪問や約6,000社の窓口相談等を通じ、各種の経営相談にきめ細かく応えるとともに、融資相談や補助金申請支援などを行なっております。

また、新規開業を促すため、創業を志す方や、創業したばかりの方々への創業支援にも取り組んでおります。

本年も、これら事業を「伴走型」で一層企業に寄り添って進めてまいりますので、どうか中小企業の皆様方には、更なるご活用をお願い申し上げます。

また、当地域が世界のモノづくりのトップランナーであり続けるため、航空機産業や医療機器産業などの次世代産業の育成・振興を進めていきます。

航空機産業は、既に東海3県で全国生産の約半分のシェアを占めており、現在開発が進んでいる国産旅客機MRJを含め、急速に発展しております。名商としては、今年9月に航空分野の国際的なビジネス商談会「エアロマート名古屋」の第2回を開催いたします。

前回を越える規模での開催を目指し、準備を進めてまいります。

更に、12月には、医療機器分野に特化した展示商談会「第4回メディカルメッセ」を開催するなど、新たな医療機器の開発・創出の支援を進めます。

### リニアを活かして地域の飛躍へ

2027年のリニア中央新幹線の開業は、当地の新たな成長・発展への大きなチャンスです。このため地域インフラの整備は不可欠であり、名古屋駅のスーパーターミナルとしての整備、中部国際空港の二本目滑走路の早期整備や、幹線道路網の一層の拡充、名古屋港の機能強化などをさらに推進していく必要があります。

また魅力ある街づくりと観光振興も重要です。「ナゴヤ」を国の内外に  
広く発信し、外国人から「日本で知っている都市は東京、京都と並んでナゴヤだ」と言わしめるくらいにしたいものです。何度も訪れたい街「ナゴヤ」と評判になるように、楽しい、面白く、親しめる街の魅力づくりに取り組むみたいと思います。

当地はモノづくり地域として世界的に有名であり、従来からこれを活かして産業観光を中心に観光振興に取り組んで参りました。

一方、当地域には産業観光以外にも「山車まつり」や「なごやめし」などの観光資源がたくさんありますが、十分に内外に知られていないのが実情です。こういった知られていない良いものを、地元を含め、内外にもっとアピールしていく必要があると思います。

本所としては、中小企業・産業振興はもとより、地域や街の盛り上げに貢献できるよう引き続き取り組んでいきたいと思っております。

本年も皆様にとって、実りある発展の年となるよう心から祈念するとともに、本所活動への一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます、新年のご挨拶といたします。

## 第67年度正副団

勇健なる名古屋人育成グループ

公益社団法人名古屋青年会議所  
第67年度 副理事長

細川 雅也



あけましておめでとうございます。公益社団法人名古屋青年会議所の会員の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また平素は、公益社団法人日本青年会議所東海地区協議会に対し格別の高配を賜り、深く感謝致します。

本年は、貴青年会議所より青木照彦君が公益社団法人日本青年会議所の第66代会頭として出向されます。東海地区協議会として、青木会頭が描く未来ビジョンをこの地方で具現化し、東京の一極集中を打破しうる真の地方創生につなげてまいります。

具体的には、(1)地域の未来を支える東海人の育成を目指し、5月28日から6月3日かけて寄港地上海に向けて出航する第44回J.C.青年の船「とうかい号」、(2)2027年のリニア中央新幹線の開業を見据え、東海地区内の交通インフラ整備を推進することによる地域経済の再生、(3)地域間交流や防災ネット

あけましておめでとうございます。公益社団法人名古屋青年会議所として、8月11日に名古屋城・愛知県体育館で開催予定の「東海フォーラム2017」を柱に、「誰もが夢を描ける持続可能な東海の実現」を目指し運動を推進して参ります。会員の皆様におかれましては、是非とも私たち東海地区協議会の運動に對しましてご理解ご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

結びに、大和直樹理事長の力強いリーダーシップのもと、会員の皆様の変化や困難を恐れない勇気を身に纏い、名古屋のまちの輝かしい未来を創りだす一年となりますこと、そして皆様方のご健康と社業隆盛を祈念申し上げます。新年の挨拶といたします。

渉外・広報グループ

魅力溢れる名古屋を発信  
ブランディングの確立

公益社団法人名古屋青年会議所  
第67年度 副理事長

山本 一統



あけましておめでとうございます。公益社団法人名古屋青年会議所として、8月11日に名古屋城・愛知県体育館で開催予定の「東海フォーラム2017」を柱に、「誰もが夢を描ける持続可能な東海の実現」を目指し運動を推進して参ります。会員の皆様におかれましては、是非とも私たち東海地区協議会の運動に對しましてご理解ご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

結びに、大和直樹理事長の力強いリーダーシップのもと、会員の皆様の変化や困難を恐れない勇気を身に纏い、名古屋のまちの輝かしい未来を創りだす一年となりますこと、そして皆様方のご健康と社業隆盛を祈念申し上げます。新年の挨拶といたします。

世界につながる価値観創造グループ

公益社団法人名古屋青年会議所  
第67年度 副理事長

浅野 弘義



あけましておめでとうございます。公益社団法人名古屋青年会議所として、8月11日に名古屋城・愛知県体育館で開催予定の「東海フォーラム2017」を柱に、「誰もが夢を描ける持続可能な東海の実現」を目指し運動を推進して参ります。会員の皆様におかれましては、是非とも私たち東海地区協議会の運動に對しましてご理解ご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

結びに、大和直樹理事長の力強いリーダーシップのもと、会員の皆様の変化や困難を恐れない勇気を身に纏い、名古屋のまちの輝かしい未来を創りだす一年となりますこと、そして皆様方のご健康と社業隆盛を祈念申し上げます。新年の挨拶といたします。

次代の名古屋創造グループ

公益社団法人名古屋青年会議所  
第67年度 副理事長

三宅 貴史



あけましておめでとうございます。公益社団法人名古屋青年会議所として、8月11日に名古屋城・愛知県体育館で開催予定の「東海フォーラム2017」を柱に、「誰もが夢を描ける持続可能な東海の実現」を目指し運動を推進して参ります。会員の皆様におかれましては、是非とも私たち東海地区協議会の運動に對しましてご理解ご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

結びに、大和直樹理事長の力強いリーダーシップのもと、会員の皆様の変化や困難を恐れない勇気を身に纏い、名古屋のまちの輝かしい未来を創りだす一年となりますこと、そして皆様方のご健康と社業隆盛を祈念申し上げます。新年の挨拶といたします。

公益社団法人名古屋青年会議所  
第67年度 専務理事

梅村 総



あけましておめでとうございます。公益社団法人名古屋青年会議所として、8月11日に名古屋城・愛知県体育館で開催予定の「東海フォーラム2017」を柱に、「誰もが夢を描ける持続可能な東海の実現」を目指し運動を推進して参ります。会員の皆様におかれましては、是非とも私たち東海地区協議会の運動に對しましてご理解ご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

結びに、大和直樹理事長の力強いリーダーシップのもと、会員の皆様の変化や困難を恐れない勇気を身に纏い、名古屋のまちの輝かしい未来を創りだす一年となりますこと、そして皆様方のご健康と社業隆盛を祈念申し上げます。新年の挨拶といたします。

総務グループ

公益社団法人名古屋青年会議所  
第67年度 常務理事

佐藤 寿倫



あけましておめでとうございます。公益社団法人名古屋青年会議所として、8月11日に名古屋城・愛知県体育館で開催予定の「東海フォーラム2017」を柱に、「誰もが夢を描ける持続可能な東海の実現」を目指し運動を推進して参ります。会員の皆様におかれましては、是非とも私たち東海地区協議会の運動に對しましてご理解ご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

結びに、大和直樹理事長の力強いリーダーシップのもと、会員の皆様の変化や困難を恐れない勇気を身に纏い、名古屋のまちの輝かしい未来を創りだす一年となりますこと、そして皆様方のご健康と社業隆盛を祈念申し上げます。新年の挨拶といたします。

## 年頭所感 光輝く持続可能な 東海の実現に向けて



公益社団法人 日本青年会議所  
東海地区協議会  
2017年度 会長 野村 晃充

あけましておめでとうございます。公益社団法人名古屋青年会議所の会員の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また平素は、公益社団法人日本青年会議所東海地区協議会に対し格別の高配を賜り、深く感謝致します。

本年は、貴青年会議所より青木照彦君が公益社団法人日本青年会議所の第66代会頭として出向されます。東海地区協議会として、青木会頭が描く未来ビジョンをこの地方で具現化し、東京の一極集中を打破しうる真の地方創生につなげてまいります。

具体的には、(1)地域の未来を支える東海人の育成を目指し、5月28日から6月3日かけて寄港地上海に向けて出航する第44回J.C.青年の船「とうかい号」、(2)2027年のリニア中央新幹線の開業を見据え、東海地区内の交通インフラ整備を推進することによる地域経済の再生、(3)地域間交流や防災ネット

あけましておめでとうございます。公益社団法人名古屋青年会議所として、8月11日に名古屋城・愛知県体育館で開催予定の「東海フォーラム2017」を柱に、「誰もが夢を描ける持続可能な東海の実現」を目指し運動を推進して参ります。会員の皆様におかれましては、是非とも私たち東海地区協議会の運動に對しましてご理解ご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

結びに、大和直樹理事長の力強いリーダーシップのもと、会員の皆様の変化や困難を恐れない勇気を身に纏い、名古屋のまちの輝かしい未来を創りだす一年となりますこと、そして皆様方のご健康と社業隆盛を祈念申し上げます。新年の挨拶といたします。

## 年頭所感 33の“覚悟” ともに進もう 愛知を想う未来へ



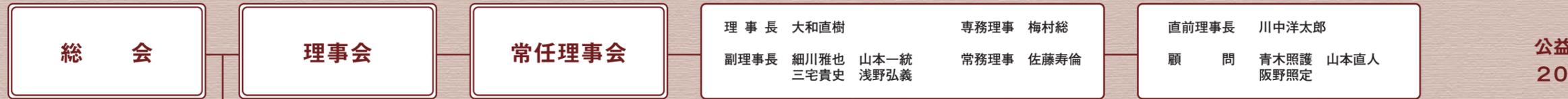
公益社団法人 日本青年会議所  
東海地区 愛知ブロック協議会  
2017年度 会長 朝倉 伸一

あけましておめでとうございます。公益社団法人名古屋青年会議所として、8月11日に名古屋城・愛知県体育館で開催予定の「東海フォーラム2017」を柱に、「誰もが夢を描ける持続可能な東海の実現」を目指し運動を推進して参ります。会員の皆様におかれましては、是非とも私たち東海地区協議会の運動に對しましてご理解ご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

結びに、大和直樹理事長の力強いリーダーシップのもと、会員の皆様の変化や困難を恐れない勇気を身に纏い、名古屋のまちの輝かしい未来を創りだす一年となりますこと、そして皆様方のご健康と社業隆盛を祈念申し上げます。新年の挨拶といたします。

あけましておめでとうございます。公益社団法人名古屋青年会議所として、8月11日に名古屋城・愛知県体育館で開催予定の「東海フォーラム2017」を柱に、「誰もが夢を描ける持続可能な東海の実現」を目指し運動を推進して参ります。会員の皆様におかれましては、是非とも私たち東海地区協議会の運動に對しましてご理解ご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

結びに、大和直樹理事長の力強いリーダーシップのもと、会員の皆様の変化や困難を恐れない勇気を身に纏い、名古屋のまちの輝かしい未来を創りだす一年となりますこと、そして皆様方のご健康と社業隆盛を祈念申し上げます。新年の挨拶といたします。



**監事**  
乃一剛英 鈴木和貴  
岩崎友就 岩田一成

**渉外・広報グループ**  
グループ長 山本一統

**渉外・広報室**  
室長 大井貴正  
新たな運動に積極的に挑むことで、会員資質の向上を図ると共に、共感の得られる運動を展開し、会員と市民の皆様が一丸となって、魅力ある名古屋のまちを共創していくことを目指します。

**渉外委員会**  
落合徹哉  
対外統括窓口として調整と対応を行うと共に、出向者に対する支援を行い、範たる姿勢を示すことのできる品格ある渉外活動を実践します。

**広報委員会**  
保田隼希  
広報誌の発行や、ホームページ・SNS等を用いた広報活動によって、名古屋青年会議所の認知度を高めていきます。

**JCFフェスティバル委員会**  
川村浩嗣  
市民の皆様が名古屋の魅力語り合い、まちを愛する気持ちが、一層の活気をもたらすことを目指したムーブメントを起こします。

**勇健なる名古屋人育成グループ**  
グループ長 細川雅也

**カッコいい名古屋人育成室**  
室長 武田裕規  
仲間を大切にするという名古屋人の魅力を引き出し、他人のために勇気を持って行動することで、互いに切磋琢磨しながら、仕事を通じてまちや人を幸せにできる人材の育成を目指します。

**爆発する人間力確立委員会**  
春名潤也  
他者を惹きつけてやまない爆発的な「人間力」をテーマに、人の持つ可能性を探求していきます。

**心ある経営実践委員会**  
田村昌之  
人を幸せにし、社会を発展させていくという、「経(世)済(民)」の本来的な役割を取り戻すために、「心」を拠り所とした経営のあり方を広めていきます。

**たくましく生きる力育成室**  
室長 長谷川正樹  
社会の変化に対応するのみならず、多様な価値観を反映した未来を想像し、その描いた未来を自らの手で果敢に創造していくことのできる、子供たちのたくましさを育ててまいります。

**未来へのソウゾウリョク育成委員会**  
三輪大介  
知的好奇心と探求心を刺激する体験を通じて、「想像力」と「想像力」を兼ね備えた子供たちの育成を目指します。

**スポーツマンシップNAGOYA委員会**  
井上剛  
心身の練磨によって自身の成長を促すのみならず、多様性を認め合うことのできる寛容な精神を育むことを目指します。

**次代の名古屋創造グループ**  
グループ長 三宅貴史

**ストロングシティ名古屋創造室**  
室長 寺田拓也  
日本をけん引する名古屋経済がもたらす恩恵と、テクノロジーの進化が実現する豊かさを市民の皆様にご実感いただき、未来の可能性に希望を抱くことのできる、「強い名古屋」の実現を目指します。

**リアル経済研究委員会**  
遠藤圭  
市民感覚に即した「リアル」な経済の実態を踏まえ、名古屋経済が今後どのように発展していくのかを示していきます。

**未来を彩るテクノロジー研究委員会**  
橋田英明  
テクノロジーのみならず新たな可能性に胸を膨らませることのできる、人と技術が共存する豊かな未来の姿を示していきます。

**魅力溢れる名古屋創造室**  
室長 藤井富浩  
名古屋が防災都市として日本の旗手となると共に、恒久的な平和への想いを具現化していくことで、誰もが心の安寧を保ち、充実した人生を送ることのできる、魅力溢れるまちの実現を目指します。

**次代へつなぐ歴史観構築委員会**  
八木俊行  
歴史的経緯に縛られず、国境や人種を超越した自他一如の精神を持ち、隣人と共に希望溢れる平和な社会の実現を目指します。

**セーフティビジョン研究委員会**  
山邊信之  
行政による公助に頼るのみならず、ビジョンを共有した市民や地域の皆様と共に、自助と共助を実践していく防災都市名古屋の実現を目指します。

**世界につながる価値観創造グループ**  
グループ長 浅野弘義

**NAGOYA価値観創造室**  
室長 林稚人  
名古屋のまちが、国際社会の中で魅力溢れる都市として発展を続けていくのみならず、世界の抱える問題を率先して解決に導いていくことのできる、「国際都市NAGOYA」へ進化していくことを目指します。

**NAGOYAの未来発信委員会**  
只井秀明  
世界に向けて開かれた国際都市の実現を目指し、NAGOYAの魅力の世界に向けて発信していきます。

**グローバルネットワーク推進委員会**  
林宏和  
人と人とのグローバルなネットワーク構築を目指し、国際感覚を磨くのみならず、多様性を受け入れながら切磋琢磨することのできる国際交流を推進します。

**クールでホットなNAGOYA創造委員会**  
鈴木里英  
市民の皆様の共感を得られる、名古屋のものづくりを活かした持続可能な国際貢献のあり方を創造していきます。

**会頭支援特別会議**  
荒尾政弘

**総務グループ**  
グループ長 佐藤寿倫

**オリエンテーション特別委員会**  
白瀬征人  
会員一人ひとりが、多様性を活かしながらもチームとして機能する組織づくりを目指し、新入会員に対して青年会議所の理念と志を伝えると共に、会員であることに誇りを持つオリエンテーションを実施します。

**総務室**  
室長 佐地宏之  
会員の一人ひとりが勇気を持って新たな試みに挑戦すると共に、組織が一丸となって共感の得られる魅力に溢れた運動を発信できるよう、誇りある運営によって組織を支えていくことを目指します。

**財務委員会**  
松永圭太  
先駆けの団体として誇りを持った堅実な組織運営を継続し、会員の力を最大限に引き出せる盤石な組織の土台を築きます。

**総務委員会**  
高橋雅大  
市民の皆様から共感を持って受け入れられる運動を構築することのできる、盤石な組織運営を遂行していきます。

**出向役員**  
鈴木信輝

**出向役員**  
光田侑司

**出向役員**  
中林良太

**わんぱく相撲運営会議**  
井上剛



# 未来は勇者のものである

～新たな価値観を創造しNAGOYAから世界へ～

**大和理事長（以下、大和）**  
本日は、お忙しい中、お時間をいただきまして、ありがとうございます。本年度は、名古屋青年会議所から日本青年会議所の会頭を輩出させていただくということで、日本青年会議所で進められている運動について、その内容や想いを名古屋青年会議所の会員にも伝えていただきたいと思い、名古屋青年会議所会員に向けてお話しをいただけたらと、このような機会を設けさせていただきます。

**青木会頭（以下、青木）**

まずは、このような対談の場を設けていただきまして、ありがとうございます。日本青年会議所に、2017年度の会頭として出向させていたことになりましたが、やはり名古屋青年会議所というLOMにお支えいただきなければ、根無し草のような状態になってしまい、日本青年会議所でやりたいことができません。どうか一年間、私ではなく、日本青年会議所を名古屋青年会議所が支えていくというお気持ちで、ご支援をいただけたらと思います。

## 第64代理事長から見た名古屋青年会議所の今

**青木** 私が理事長を務めてから3年経ちましたが、当時と比べて今の名古屋青年会議所の良くなった点は、まずは会員数が増えたということです。私が理事長をやらせていただいた第64年度は、670名スタートでしたが、今は700名くらいでしょうか。数は力なりと言いますので、名古屋青年会議所は力を得たと言えますね。もう一つ、成長したと言えるところは、名古屋青年会議所は公益社団法人格を愛知県で第1号に取得したのですが、当初はものすごく縛りが強かったこともあり、公益事業比率50パーセントを切ったら解散というルールに初めは臆していましたが、最近では会員益を意識した対内例会がだんだんと増えてきました。私

は、「世のため人のためが自分のため」というのが「日本道」であると思うのですが、やはり青年会議所はボランティアを行うだけではなく、そこに会員益がなければなりません。それはもちろん人脈であったり、商売につながるものであったりもするのですが、一番の会員益とは「自己成長」であると私は考えています。自己成長を与えるということが、成長した部分だと思えます。しかし、会員数が増えるということは、そこにリスクも負っているということですね。名古屋青年会議所には選挙制度がありますが、会員数が増えたにもかかわらず、候補者の数が減ってしまっているのは全く逆効果です。会員数が増えたのであれば、しっかりとそれに比例して候補者の数が増えていかなければなりません。

向上につながりますし、そういった原体験が自己成長につながる。だからこそ会員益だと私は思います。もう一つ、私が最も名古屋青年会議所に対して危惧している点は、政策を打っていないことです。名古屋のまちをどのように発展させていくのかという部分において、大きな将来ビジョンに変わりはありません。最終ゴールは一緒です。そこに対するKPI（数値的目標）が、今の名古屋青年会議所には全くないと思います。まちづくりに対する数値的目標を作って、その目標をクリアしていく。それを毎年PDCAサイクルをまわして見直しつつ、次の年につなげていく。そして5年後、10年後に目標を達成する。その目標が達成された名古屋のまちは、このような姿だということを示していかなければ、結局会員をモチベートすることはできません。

**大和** 確かに、何度か日本青年会議所に出向させていただいた時には、LOMと違って単年度制ではありながら、運動や政策に継続性があると感じました。

**青木** 特に名古屋は、初代大隈理事長が「不連続の中の連続」という名言を残しています。この名古屋青年会議所が変えていかなければいけません。だけど、名古屋は母体が大き過ぎて、予算もあり過ぎて、人もいっぱい居過ぎて、政策をやらなくてもなんとなく青年会議所運動をやっている感じになってしまいます。一方で、10人、20人しかいないLOMは、その一本の政策に全てを賭けています。これで会員をモチベートしていくんだ、ということをやっていますよ。だから、本心に突っ込んだ政策をやっている。行政と組んだり、学校と組んだり、もちろん企業と組んだりしながら。そういう実際に目に見える形でまちが変わっていく、何かが始まりつつあるという期待感が会員をモチベートしていくのではないかと思います。

**大和** 確かに、何度か日本青年会議所に出向させていただいた時には、LOMと違って単年度制ではありながら、運動や政策に継続性があると感じました。

## 名古屋青年会議所にとって、日本青年会議所への支援とは？

**大和** 荒尾委員長に日本青年会議所の渉外委員長として出向していただいています。LOMの中でも会議体を一つ作り、会頭支援をするチームを募らせていただきました。日本が掲げる大きな運動をLOMのメンバーにも知って欲しいという願いがあります。例年よりも一層、日本青年会議所に名古屋青年会議所が寄り添っていきたくと思っています。

とをより身近に感じてもらいたいと考えています。しかし、例年のことではありますが、LOMのメンバーには出向者がどのようなことをしているのか分かりづらいですね。京都会議やサマーコンファレンス等で出向者支援としてご挨拶に伺いますが、本当にこの委員会が何をやっている委員会なのかをちゃんと理解することが支援する側としては大切だと思います。

**青木** 先述させていただきましたが、名古屋青年会議所は日本青年会議所の生みの親でありますから、会頭を支えるのではなくて日本青年会議所全体を支えていただきたいと思います。そのため、支援とよく言われるのが諸大会の登録、出向者が作り上げるフォーラムやセミナーへの参加、運動の発信、運動そのものを支援するのにもありがたいですね。

**大和** 私が最初に国際の機会に触れたのは、杉本副会頭の時ですが、JCの世界的なつながりに感銘を受けました。2011年は東日本震災が被災した年でしたが、各国から心こもった支援金をいただきました。お互いを仲間と想ってくれているのだと、胸が熱くなりました。

**青木** 第66年度の民間外交推進委員会のように、委員会が主体となって海外を訪れるような機会は、昔はあまりなかったですが、第65年度にハワイを訪問し、姉妹JCを締結する等、国際を重視した運動が継続・発展していますね。どんどん国際の扉が広がっているという点が、名古屋青年会議所の一番成長した部分かもしれません。

**大和** 2010年世界会議の時から、国際に対する意識が高まってきましたね。

**青木** 名古屋青年会議所による世界会議誘致に関して、第66年度に大和議長のもとで総会

決議をされましたが、国際の扉というものをもっともっと開いていかなければいけないし、国際に対する免疫というか、ハードル・壁をメンバーの意識から取り払うようにしていかなければならないと思います。

## 日本青年会議所×名古屋青年会議所の関係構築とは

**青木** 繰り返しになりますが、名古屋青年会議所にお支えをいただくと考えていただけることこそが支援です。ですから、名古屋青年会議所には日本青年会議所を道具としてフル活用していただきたいと思っています。日本青年会議所は、696LOMの総合調整機関として、LOMのために存在しているので、何か困ったことがあったら日本青年会議所に相談しよう！と考えていただけることこそが支援です。日本青年会議所を使い倒してやると会員全員に思っていたことと、これこそが一番の日本青年会議所に対する支援ではないかと思えます。

**大和** 日本青年会議所は、常に動き続けていますよね。スピード感が凄いと感じます。

**青木** 日本青年会議所では、1月1日にカラーで描けない事業は、絶対に一年の内に実現することができません。なぜかという点、日本青年会議所の運動はサマーコンファレンスで終わります。京都会議で実現しようとする運動の全てを発信しないといけない。だから、予定者の段階で調査研究なんてとくに終わっています。

**最後にメンバーに向けて一言ずつお話しします。**

**青木** 青年会議所というのは、最終的に何を得るかという「自己成長」だと思っています。そのためには、強烈な原体験が必要です。会議室で議論していても始まりません。自分で脚を使っ

てみる。そこで与えられたティーンパクトこそが、原体験です。自己成長が人脈へつながります。何事に対しても、目的意識を持ってJCという道具を使っていたらいいと思います。目的意識がないと、逆にJCという道具に使われません。何のために参加しているのか。家庭や仕事を犠牲にして、時間を使っているのですから。是非、目的意識を持ってJC、日本青年会議所を使い倒して下さい。

また、最近の若いメンバーを見ると、本心に元気がないと感じます。それは、セレモニーに表れると思います。勢いがあって、バリバリと政策を打っているLOMは、セレモニーが格好良い。皆さん、胸を張って元気良くやっているのがスカッとします。それでいて、会員をモチベートできる政策を打ち出している。LOMとしても盛り上がりつつあります。セレモニーを大切にして下さい。

**大和** 先日、委員会を訪問させていただきました。JCコミッション・JCクルード・綱領を一言ひとこと、大切に唱和している委員会があった、すごく良いことだと思いました。

皆さんは勇者です。勇気を持って色々なことに飛び込んで欲しい。自分を広げる入り口として、地域や世界につながっているJCをどんどん使ってください。

# 対談



青木 照護  
公益社団法人日本青年会議所 第66代会頭

大和 直樹  
公益社団法人名古屋青年会議所 第67代 理事長

**青木** せっかく日本青年会議所の会頭として出させていただくわけですから、是非、日本青年会議所の運動や会頭が何をしているのか、私としてもLOMの皆さんに知っていただきたいと思えます。荒尾委員長率いるセクチームがブログを書くので、これを読んでいただき、LOMの会員として日本青年会議所を身近に感じていただけたらと思います。

**大和** 本年度は、LOM内で各委員会から出向という形で、会頭支援特別会議という会議体も作りました。この会議体を集まっていたら出向者の皆さんを通じて、日本青年会議所のこ